

ポジティブな障害者雇用

障害者雇用における 合理的配慮をめぐる対話

- デンマークとフィンランドの実践と調査報告 -

現在、障害者雇用は転換期を迎えています。企業の法定雇用率は、2024年4月には2.5%となります。法定雇用率を達成するという「数」だけでなく、障害者が企業の中で強みや特性を活かしながら戦力となるといった雇用の「質」が重視されます。職場定着には「合理的配慮」が重要であり、厚生労働省の「合理的配慮指針」では合理的配慮は事業主と障害者の相互理解の中で提供されるべき性質のものと記載されています。これまでの調査より、障害者雇用における相互理解を促進するためには「対話（ダイアログ）」が有効であることが明らかとなりました。他方、フィンランドとデンマークは社会的背景として、対話を重視し、障害者等の社会生活で何らかのサポートが必要な方への支援アプローチに対話の手法を用いています。ヒアリング調査を実施した結果、対話を通して本人を良く理解し、参加性を高めること、そのために、特に働く分野では本人の強みを発揮できるように徹底的な環境調整をしていることが分かりました。

本会はその報告であり、かつ、デンマークで本人の強みを発揮できるように環境調整を行い、多くの発達障害者の雇用を成功させている Glad Teknik 社のマティアス氏のお話をうかがいます。マティアス氏は本人も発達障害当事者であり、自身の経験を踏まえて、経営者として、障害のある従業員との対話と環境調整を強みとした職場環境を提供しています。現在に至るまでの経験や発達障害者との起業の話聞きながら、対話や合理的配慮について考える機会をもちます。また、シンポジウムでは、今後の障害者雇用の向かうべきところについて、「合理的配慮をめぐる対話」「強みの発揮と環境調整」等といった視点から、参加者のみなさんとディスカッションを行い、障害者雇用の質について考える機会にしたいと思います。

基調講演講師
シンポジスト



マティアス・ニールセン氏

Glad Teknik 社（コンピューターのリペア会社）CEO

19歳のときにアスペルガー症候群とADDと診断される。2016年の夏、自閉症の若者のための特別な宿泊プログラムを受けた後、コンピューターを修理する会社のインターンシップにて、コンピューター修理のための特別なスキル（後に「超能力」と呼ぶ）を持つことに気づく。その後、起業を決意。2020年には従業員が6人。その後、150万デンマーククローネの出資を受け、事業を拡大。2023年従業員数は約40人となる。2018年3月の設立以来、手厚い利益をもたらしており、すべての投資は自ら稼いだ利益で行われている。従業員の80%以上が何らかの診断を受けている。

Guest
Speaker

調査報告

片山 優美子氏

長野大学社会福祉学部社会福祉学科 教授

博士（社会福祉学）。精神保健福祉士・社会福祉士・公認心理師。重度精神障がい者の就職・定着支援 /wellness recovery action plan/ ヤングケアラーに関する地域づくり / 対話（ダイアログ）に関する研究を行う。

シンポジスト

松門 協氏

筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群（博士前期課程）
リハビリテーション学位プログラム 修了予定

一般社団法人 daimon 理事。精神保健福祉士。沖縄県出身。これまで就労移行支援事業所にてリワーク支援と、官公庁ジョブコーチとして従事。関心分野は「職業リハビリテーション」、「支援従事者のもつ偏見や特権性」など。

中尾 文香氏

NPO法人ディーセントワーク・ラボ 代表理事

博士（社会福祉学）。社会福祉士。2016年東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科博士後期課程修了。研究のテーマは、障がい者就労・雇用、QWL(Quality of Working Life)、ディーセント・ワーク。障がい者雇用・就労などに関するコンサルを実施している。

足立 興治氏

NRI みらい株式会社 顧問

1987年4月野村総合研究所入社。コンサルティング事業本部大阪オフィス代表、ヘルスケアイノベーション事業二部長、同本部研究室長を経て、同社の特例子会社NRIみらい株式会社設立準備に着手。取締役事業部長、代表取締役社長、取締役会長、2023年4月より現職。「支援される側から支援する側へ」を目指し障がい者雇用に取り組む。

日時

4.25 2024
Thu

13:00-16:30 (開場12:30)

※後日、動画配信あり

会場

筑波大学 東京キャンパス
文京校舎 134 番教室

東京都文京区大塚 3 丁目 29-1
交通：丸の内線 茗荷谷（みょうがだに）駅
下車「出口1」徒歩 5 分程度

対象

- 研究者・学生・大学関係者
- 企業の障がい者雇用関係者
- 障がい者の就労支援関係者
- 障がい者雇用に関心のある方

参加費

無料

定員(対面):200名

Program

13:00 13:05	開会のご挨拶 筑波大学 人間系 教授 小澤 温 氏
13:05 13:30	調査報告 「デンマークの障害者雇用について」 NPO 法人ディーセントワーク・ラボ 代表理事 中尾 文香 氏
13:30 14:00	調査報告 「フィンランドにおける対話について～合理的配慮をめぐる対話の方法～」 長野大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 片山 優美子 氏
14:10 15:20	基調講演 「Glad Teknik における発達障害者の雇用と社会的意義について」 Glad Teknik 社 CEO マティアス・ニールセン 氏
15:30 16:30	シンポジウム 「合理的配慮をめぐる『対話』～強みの発見・発揮と環境調整～」 【シンポジスト】 ・ Glad Teknik 社 マティアス・ニールセン 氏 ・ 筑波大学人間総合科学学術院 リハビリテーション学位プログラム 松門 協 氏 ・ NRI みらい株式会社 顧問 足立 興治 氏 【コーディネーター】 ・ NPO 法人ディーセントワーク・ラボ 中尾 文香 氏

お申し込み方法



◀ **申込フォーム** <https://forms.gle/bNkh5BFukQQDMFSZ8>

こちらの申込フォームからお申し込みいただくか、もしくは
email (info@decentwork-lab.org) 宛に下記の必要事項を記入し、お送りください。

メール記載内容

- ①お名前
- ②大学名・法人名
- ③所属・部署など
- ④住所
- ⑤電話番号
- ⑥メールアドレス
- ⑦参加方法(対面 or 後日、動画配信)
- ⑧アクセシビリティ等に関する配慮の有無

【個人情報の取り扱いについて】今回、取得させていただいた情報は、個人情報保護法に則り、紛失・破壊・改ざん・漏洩などに対する予防や保護並びに取扱いに細心の留意を払って管理いたします。お問い合わせがある場合は、下記【お問合せ先】にご連絡ください。

【お問合せ先】 ポジティブな障害者雇用 調査報告会事務局

特定非営利活動法人
ディーセントワーク・ラボ内

〒145-0062 東京都大田区北千束3-28-9VANフラッツ401 ○Tel: 03-6451-7345(平日10:00-17:00)
○email: info@decentwork-lab.org ○HP: <https://decentwork-lab.org/> ○担当: 肥後

本報告会は、挑戦的萌芽研究

「就労定着における障害者と企業との合理的配慮に関する対話プロセス類型化の試み」の一環で実施いたします。

学術振興会・科学研究費助成事業・挑戦的研究(萌芽)

「就労定着における障害者と企業との合理的配慮に関する対話プロセス類型化の試み」研究代表者 小澤 温 (筑波大学)

● 共催: 筑波大学人間総合科学学術院リハビリテーション科学学位プログラム
特定非営利活動法人ディーセントワーク・ラボ